



口から食べてもらいたい！

順明会 ジャルダン・リラ

「オレンジタウン バーバラハウス」

発表者	園部まき子
機器操作	岡安光江
共同研究者	黄木健太、山本かおる
協力者	オレンジタウン職員一同

事例

氏名・・・M様

年齢・・・83歳

性別・・・女性

介護度・・・4

ADLレベル・・・全介助

既往・現病歴・・・脳梗塞を発症し左片麻痺となる(H14)

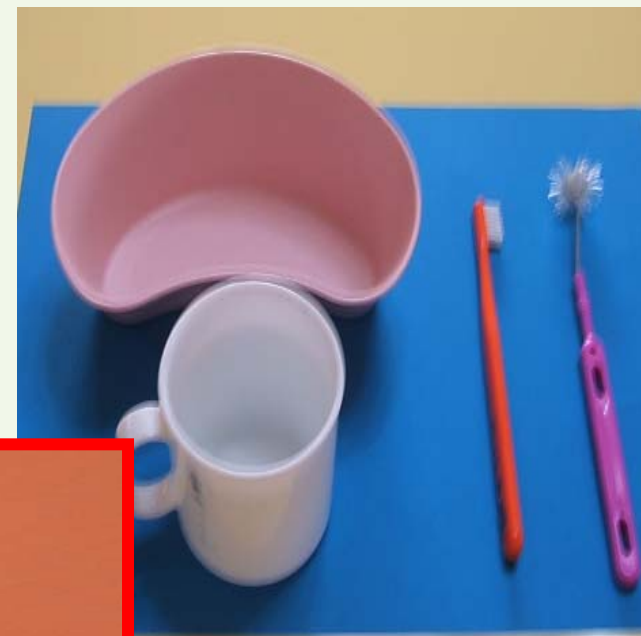
再度脳梗塞を発症し、食欲低下に伴ないマーゲンチューブ (H18年)

経管流動開始、胃瘻造設する (H19)



口腔ケア実施内容

- クルリーナにて口腔内の清掃
- 唾液腺マッサージ
(耳下腺・顎下腺・舌下腺)
☆場所→居室
☆回数→1日3回(経管流動食前)
- 発声の練習
☆場所→リビング
☆回数→1日1回以上



クルリーナ実施



- クルリーナ使用開始時
(介助必要)

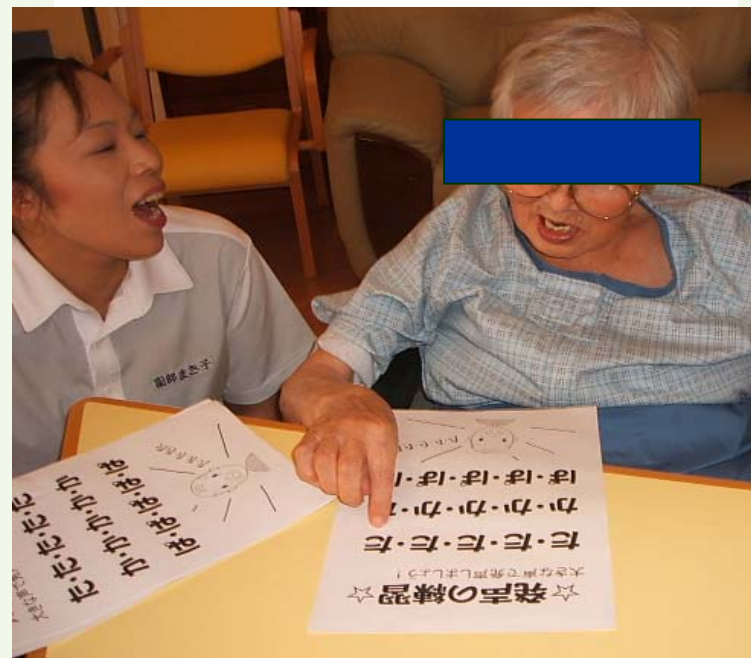


- クルリーナ使用2週間後
(自己にて実施可能)

職員と一緒にやっています！



- 唾液腺マッサージ



- 発声の練習

ほんとに食べたいのかなあ？



食事の様子(ミキサー食・食事風景)



- タマゴボー口を食べられるMさん



- うれしそうに自力摂取されるMさん

まとめ

食欲低下のM様に対し、口腔ケアアクションを行っていく過程で口腔ケアの大切さを学びました。

ご利用者本人の意欲が増すように努力することこそ介護の役割だと心から理解しました。